第2表 (添加剤)

※下線を付した箇所が改正箇所、取り消し線を付した箇所が廃止箇所を示す。

改正内容	(物質の追加の場合) 令和4年4月26日より厚労省HPで行った意見募集の際 についていた通し番号	通し番号	物質名	材質区分別使用制限 (%)					材質区分5 (耐熱温度が150℃未満の重合体に限る。)	特記事項
				材質区分1	材質区分2	材質区分3	材質区分4	材質区分5 (耐熱温度が150℃以上の重合体に限る。)		
材質区分別使用制限 (%) の変更	—	129	エトキシ化及びプロポキシ化のうち又は複数の処理がされたアクリル酸 2-エチルヘキシル、ジエチレントリアミン、バレロラクトン、2-フェノキシエタノール並びにヘキサメチレンジイソシアネートを主な構成成分とする重合体	3.0 ↓ <u>5.0</u>	2.0 ↓ <u>5.0</u>	4.0 ↓ <u>5.0</u>	— ↓ <u>5.0</u>	4.0 ↓ <u>5.0</u>	4.0 ↓ <u>5.0</u>	・エチレングリコール及びプロピレングリコールのうち又は複数の重合体 (エチレンオキシド及びプロピレンオキシドの付加数が合計4以上のものに限る。) の合計が全体の50%以上であること。 ・分子量1000以上のものに限る。
特記事項の変更	—	143	エトキシ化及びプロポキシ化のうち又は複数の処理がされたグリセロール	5.0	5.0	15	1.0	15	15	エチレンオキシド及びプロピレンオキシドのうち又は複数の付加数が合計4以上のものに限る。
材質区分別使用制限 (%) の変更	—	147	エトキシ化及びプロポキシ化のうち又は複数の処理がされたN, N-ジメチル-1, 3-プロパンジアミン、トルエンジイソシアネート並びにブタノールを主な構成成分とする重合体	0.90 ↓ <u>0.95</u>	0.30 ↓ <u>0.40</u>	2.0	—	2.0	2.0	・エチレングリコール及びプロピレングリコールのうち又は複数の重合体 (エチレンオキシド及びプロピレンオキシドの付加数が合計4以上のものに限る。) の合計が全体の50%以上であること。 ・分子量1000以上のものに限る。
材質区分別使用制限 (%) の変更	—	698	フマル酸ジブチル	1.6	1.0	0.50 ↓ <u>1.0</u>	—	1.6	1.0	重合体を含む。
物質の追加	—	<u>828</u>	<u>アクリル酸 2-ヒドロキシエチル及びアクリル酸ブチルを主な構成成分とする重合体</u>	<u>1.0</u>	<u>1.0</u>	<u>1.0</u>	<u>1.0</u>	<u>1.0</u>	<u>1.0</u>	<u>分子量1000未満のものに限る。</u>
物質の追加	238	<u>829</u>	<u>インデン及びベンゾフランを主な構成成分とする重合体</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>30</u>	<u>—</u>	<u>30</u>	<u>30</u>	<u>分子量1000未満のものに限る。</u>
物質の追加	—	<u>830</u>	<u>エトキシ化処理されたアルキルアルコール及びホスフィン酸からなるエステルのナトリウム塩</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>—</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>・アルキルアルコールは炭素数が12から15までのもの及びそれらの混合物に限る。</u> <u>・エチレンオキシドの付加数が4以上のものに限る。</u>
物質の追加	388	<u>831</u>	<u>エピクロロヒドリン及びビスフェノールAを主な構成成分とする重合体</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>27</u>	<u>5.0</u>	<u>27</u>	<u>27</u>	<u>架橋構造でないものに限る。</u>
物質の追加	—	<u>832</u>	<u>オレイン酸及びテトラエチレンペンタミンからなるアミド</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>—</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	
物質の追加	—	<u>833</u>	<u>加水分解処理されたN-[3-(トリアルコキシシリル)プロピル]-エチレンジアミン</u>	<u>1.0</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>1.0</u>	<u>—</u>	<u>各アルコキシの炭素数が1及び4のもの並びにそれらの混合物に限る。</u>
物質の追加	501	<u>834</u>	<u>キシレン及びホルムアルデヒドを主な構成成分とする重合体</u>	<u>20</u>	<u>20</u>	<u>10</u>	<u>—</u>	<u>20</u>	<u>20</u>	<u>分子量1000未満のものに限る。</u>
物質の追加	596	<u>835</u>	<u>酢酸のコバルト塩</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>0.10</u>	<u>—</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	
物質の追加	—	<u>836</u>	<u>酢酸ビニル及びジシクロペンタジエンを主な構成成分とする重合体</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>17</u>	<u>—</u>	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>分子量1000未満のものに限る。</u>
物質の追加	276, 281, 282, 283, 284, 344, 792, 追052	<u>837</u>	<u>ジメチルシロキサン、3-ヒドロキシプロピルメチルシロキサン、ヒドロキシメチルシロキサン、メチルシルセスキオキサン及びメチル水素シロキサンのうち又は複数の主な構成成分とする重合体</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>・アリルアルコール、酢酸、ブタノール及びブタンジオールのうち又は複数の物質により修飾処理されたものを含む。</u> <u>・エトキシ化及びプロポキシ化のうち又は複数の処理をしたものに限る。</u> <u>・3-ヒドロキシプロピルメチルシロキサンはグリシジルエーテルを含む。</u> <u>・分子量1000以上の場合は、エチレングリコール及びプロピレングリコールのうち又は複数の重合体 (エチレンオキシド及びプロピレンオキシドの付加数が合計4以上のものに限る。) の合計が全体の50%以上であること。</u>
物質の追加	—	<u>838</u>	<u>(チオグリコール酸 2-エチルヘキシル) モノオクチルスズルフィド</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>1.0</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	
物質の追加	—	<u>839</u>	<u>ビス (ノニルフェニル) アミン</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	<u>—</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	
物質の追加	—	<u>840</u>	<u>N-ヒドロキシエチル-エチレンジアミン三酢酸のナトリウム塩</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	<u>—</u>	<u>0.10</u>	<u>0.10</u>	

備考

a 材質区分別使用制限欄は、次に定めるとおりとする。

① 「—」は、材質区分別使用制限欄に掲げる量が使用不可であることを示す。

② 「*」は、表中の物質が、第1表に対応する材質区分欄に示す物質に対して、目的とする特性を発揮する最少量として、合成樹脂を設計する際に事業者の責任で設定する使用量とするものを示す。

b 特記事項欄において特段の定めがある場合は、使用温度、対象食品、材質の厚さ、食品への直接接合の有無、使用量の和に係る事項の記載がある場合とする。

c 1つの通し番号において、複数の物質が示され、かつ、示される物質について混合物の制限が無い場合、その通し番号には、示される複数の物質の混合物及び複塩も含む。また、その通し番号において示される複数の物質の混合物又は複塩を使用する場合、材質区分別使用制限はその混合物又は複塩に対して適用する。